

- 07/26・米・EU、関税撤廃交渉へ 首脳会談で合意 決裂ひとまず回避
EU,あえて取引に乗る 「休戦」演出
- 07/27・貿易戦争、米企業に打撃 GM、GEの利益圧迫
・フェイスブック株19%安 時価総額1日で13兆円減
・アマゾン純利益13倍 4~6月 クラウド増収で最高益
- 07/28・米経済、危うい高成長 4~6月GDP,4.1%増に加速 < 1 >
減税が後押し 駆け込み輸出 貿易戦争で反動減も
- 07/29・英EU離脱交渉暗礁に 迫る10月期限 延長案も 国境問題、打開見えず
- 07/31・日銀金融緩和、運用柔軟に 長期金利の変動容認 物価見通し下げ < 2 >
緩和継続、副作用に配慮 長期金利上限0.2%容認 物価目標達成21年度以降
- 08/01・米物価、2.2%上昇 6月、利上げ路線後押し
・ユーロ圏年率1.4%成長 4~6月 プラス期間、最長の5年超 < 3 >
- 08/02・米、対中関税25%に上げ 1日大統領が検討指示 第3弾22兆円分 < 4 >
対中強硬一段と 副作用より選挙優先
・米、9月追加利上げ示唆 FOMC「経済活動、力強い」
米長期金利に上昇圧力 1ヶ月半ぶり3%台 雇用増や日銀緩和修正
- 08/03・アップル時価総額初の1兆ドル アマゾン、グーグルも大台視野に < 5 >
・トランプ政権、燃費基準を大幅緩和 米のEV普及遅れも 州独自規制も認めず
- 08/04・中国、追加関税6.7兆円分 米の第3弾制裁発動に報復
・米雇用7月15万人増、失業率低下3.9% 賃金上昇なお力不足
・イラン、米制裁をけん制 ホルムズ海峡で軍事演習 石油市場に警戒感
- 08/05・金利上昇圧力、世界で 日銀政策変更契機に 株式市場は影響警戒 < 6 >
- 08/07・新興国債券償還ラッシュ 年100兆円、返済に懸念 米利上げで負担増大
- 08/08・対中関税第2弾23日発動 米、1.8兆円分に25%上乗せ
- 08/09・米、ロシアに追加制裁 電子部品など輸出禁止 英で化学兵器使用、断定

<1>

4～6月期の米GDP速報値
 (金額は季節調整済み、年率。2012年基準価格。増減率は前期比年率。▲はマイナス)

	金額 (億ドル)	増減率 (%)
国内総生産	185,072	4.1
個人消費支出	128,478	4.0
民間設備投資	27,015	7.3
民間住宅投資	6,137	▲1.1
民間在庫投資	▲279	—
純輸出	▲8499	—
輸出	25,742	9.3
輸入	34,241	0.5
政府支出	31,689	2.1
GDPデフレーター	—	3.2

(出所)米商務省

<2>

2%の物価目標実現へ強力な緩和を継続

政策金利に関する
 フォワードガイダンス導入

→極めて低い金利水準を当分の間、維持することを約束

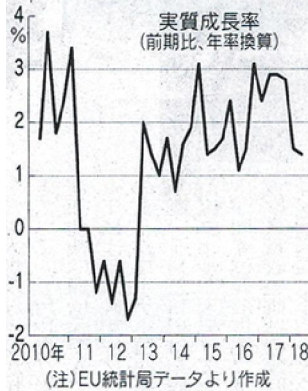
現行の金融緩和策の持続性を強化

→長期金利は経済・物価情勢である程度変動

→ETF買い入れ、TOPIX連動型の割合増加

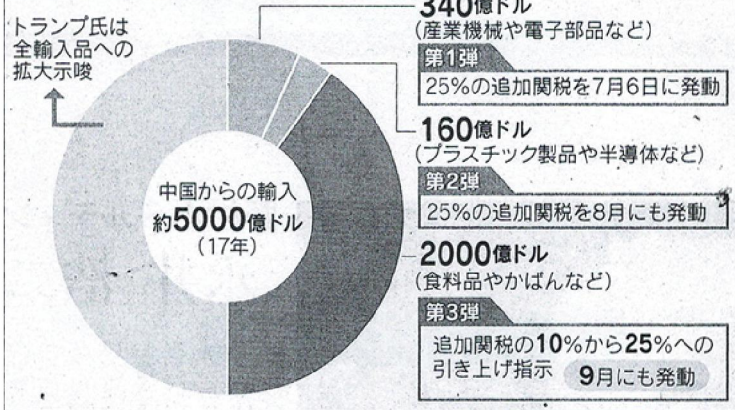
<3>

ユーロ圏はプラス成長維持も伸びは鈍化



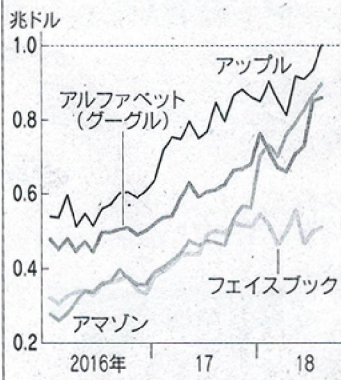
<4>

米政権は対中関税の対象を広げている



<5>

アマゾン・グーグルも1兆ドルに
 近づく(ハイテク大手の時価総額)



<6>

